

地方創生による活力で 次世代へ残す輝くまちづくり

町民の皆様、あけましておめでとうございます。

皆様には明るい希望に満ちあふれた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日ごろからの町政全般に対する温かいご理解と絶大なご協力に厚くお礼申し上げます。

さて、昨年はノーベル物理学賞などでの2人の受賞やラグビーW杯での日本代表の活躍など、日本の持つ潜在能力を世界に強く発信した年と言えます。本町の明るい話題としましては、四季に合わせたイベントで本町の魅力を広く発信するために、夏のあゆまつり、秋の産業文化祭、冬の甲佐10マイル公認大会に続く春の新しいイベントとして「緑川スポーツフェスタ」を4月29日に開催しました。このフェスタによるスポーツとグルメを楽しむ祭典に、町内外から多くの皆様にご来場・ご参加いただきました。今後も本町の新たな魅力と活力としてはぐくんでまいります。

今日わが国では安倍政権による「地方創生」や、経済政策「アベノミクス」で

のデフレ脱却や消費税増税問題、女性の社会進出、TPP、安全保障、行政改革など、数多くの政策課題が山積しております。特に、今後は「地方創生」に向けた取り組みは喫緊の課題と考えます。本町も地方創生に準じて、さまざまな機関が連携しながら活性化を図るさまざまな施策を講じていく必要があります。

そういった中、今年には町政運営3期目の舵を取るわけでありますが、町民の皆様が「甲佐町に住んでよかった」と誇りと愛着を持って心から口にしていただけるよう、なお一層、本町の個性を活かしたまちづくりに努めてまいります。平成28年においても行財政改革を強く推し進めて財政基盤をさらに強化しつつ、今年度に策定する「地方版総合戦略」や第6次「甲佐町総合計画」を基盤に据えて引き続き行政サービスの充実を図ってまいります。

そして、それらの改革や取り組みによって、①活力に溢れるまちづくり、②安心・安全なまちづくり、③健康と人を育むまちづくり、④協働で支えるまちづくりの4つの柱を基本とした40項目の政

策目標の達成に向けて、「再生から創生へ・次世代へ残す輝く郷づくり」をキーワードに邁進してまいります。

特に、これまでの取り組みにより、合計特殊出生率がこの10年間で1・39が1・71まで伸び、その伸び率は県内トップで、しかも全国で第8位に入りました。今後も若者を中心とした「定住促進」を進めるための「子育て支援」のさらなる拡充を進める一方で、「清流緑川」の河川空間を活用し交流人口増にも取り組んでまいります。

また、教育制度改正に伴い、町長が教育行政にこれまで以上に関与する機会が増えてまいります。町教育長（町教育委員会）との統一した考えの下、次代を担



甲佐町長 奥名 克美

う郷土愛豊かな子どもたちの育成にも大いに力を注いでまいります。

今後、地域間競争は進みますが、新たな年を迎えるにあたりこれからも初心を忘れることなく気を引き締めて、町民の皆様から寄せられた大きな期待に慮えるためにも町職員と一丸となり、共に汗を流して「甲佐町らしさ」を追求し、まちづくりに強い信念とあふれる情熱で努めてまいります。

終わりに、町民の皆様、また議会の皆様には、本年も変わらぬご指導とご支援の程をよろしくお願いを申し上げますとともに、町民の皆様にとりまして輝かしい良き1年となることを祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

甲佐町の 発展を目指して

甲佐町議会議長

緒方 哲哉

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

平成28年の年頭にあたり、甲佐町議会を代表し、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、新たな期待と希望をもって、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、2月に本町議会議員の一般選挙が行われ、3月からは新議員を含む12名の議員によりまして、町民の皆様への託に応えられるよう、新たな気持ちをもって議会運営を行っています。

また、奥名町政の3期目が始まり、新たなマニフェストが示されましたが、基幹産業である農業は長引く景気低迷、後継者問題によって活力不足は極めて厳しい状況です。



また、商店街の疲弊など、商工業も危機的状況にあると思っております。

農業を中心とした産業の振興や緑川を活かした環境政策、子育て世代に優しい政策、教育政策の充実による甲佐の魅力を活かした定住政策などの取り組みを推し進める必要があると考えております。

町議会としましては、町執行部とともに「更なる甲佐町の発展を目指して」、全力で取り組めます。

町民の皆様の声を大事にしていくとともに、町民の皆様のご代表であることを強く自覚し、日々研さんに努め、開かれた議会づくりを目指していきます。

今後とも、ご指導とご支援をよろしくお願いいたします。

町民の皆様にとりまして、実り多き年でありますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

文教の町、甲佐

甲佐町教育長

蔵田 勇治

し、教育行政の基本的方針である「教育大綱」を制定いたしました。

我が国は、次の東京オリンピック・パラリンピック開催年2020年（平成32年）を大きな節目として、さまざまな分野で大きな変革期を迎えるでありましょう。

そのような中で、本町の教育はしっかりとした理念を持ち、「人格の完成」という教育の究極の目的を見失うことなく、変化する未来にたくましく生きていく力を子どもたちにはぐくんでいかなければなりません。

学校や保護者、地域の方々と手を携え、時代の変化を的確に捉えながら、基礎学力をしっかりと身につけ、グローバル社会の中でたくましく生き抜く力、温かい思いやりの心、高い道徳性を持った人間を育てる学校教育の実践に全力で取り組み、社会教育などの充実と共に「文教の町、甲佐」を強く築いてまいります。



明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、旧年中は学校教育、社会教育、生涯体育・スポーツ活動、芸術文化振興・文化財保護等の本町教育行政に温かい御理解とご支援、ご協力を賜りましたことに感謝申し上げます。

今、我が国では大きな教育改革が進められています。子どもたちは大きな変革の渦に否応なく吸い込まれていくこととなります。私たちの町、甲佐町の教育もその大きな流れの中にあることは言うまでもありません。

町教育委員会は、昨年4月より地方教育行政法改正による新制度教育委員会へと移行すると共に、総合教育会議を開催